



第10回 精神病態セミナー

うつ病の認知行動療法 20年の軌跡 ～エビデンスを創り、普及させる～

演者：中川 敦夫 先生

聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室 教授
聖マリアンナ医科大学病院
精神療法センター・ストレスケアセンター長

日 時

2022年 12月 16 日（金） 18:00～19:00（質疑応答含む）

開催方法

Zoomを用いたLIVE型のweb形式

参加費

無料

参加方法

12月15日（木）までに右記のQRコードまたはURLよりお申し込みください。 **※事前申込が必要です。**



<https://forms.gle/HC3aV5shpnFVg7Um6>

認知行動療法は、うつ病、不安症、強迫症をはじめとする様々な精神疾患に対する治療や再発予防に関する効果が臨床試験にて確認され、国内外の診療ガイドラインにおいて、標準治療の1つとして推奨されている。わが国では認知行動療法は専門医療技術として2010年より診療報酬の対象となった。

うつ病の認知行動療法は、2つの厚生労働科学研究である「精神療法の実施方法と効果に関する研究」と「精神療法の有効性の確立と普及に関する研究」において「認知療法・認知行動療法治療者用マニュアル」を作成し、その有効性を実証した。そして、認知行動療法の普及を目的として、2011年度からこのマニュアルに準拠したプログラムに沿って、医療者を対象とした厚生労働省認知行動療法研修事業が開始され、ワークショップやスーパービジョンなど一連の研修を通して、認知行動療法を医療現場で実施する人が出てきた。しかしながら、認知行動療法が国民の期待に応えるまでには十分に普及していないことが明らかになっている。このようなことから、認知行動療法を臨床現場に効果的・効率的に組み込んでいくためには、普及と実装に関する多角的な検討が重要となっている。

本セミナーでは、演者が取り組んできているうつ病に対する認知行動療法を題材に、Evidence-Based Practiceを確立し、Evidence-Practice Gapを乗り越える取り組みを紹介しながら、患者に最善の医療を提供することについて考える。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本亮太 Tel: 042-346-2046（内線6255）